

広域で連携する

まちづくりへ

定住自立圏構想の
中心市宣言をしました

平成21年12月15日、第4回室蘭市議会定例会本会議において、室蘭市長が西胆振地域(室蘭市・登別市・伊達市・豊浦町・壮瞥町・洞爺湖町)の定住自立圏構想の中心市となることを宣言しました。

今後、周辺市町や民間団体と、圏域発展に向けて、どのような事業が連携して取り組めるかを協議していきます。内容などについては、広報むろらんなどで随時お知らせしていきます。

西胆振地域がより住み良いまちになるよう市民の皆さんや関係団体との意見交換の場を設けていく予定ですので、ご協力をお願いいたします。



中心市宣言をする
新宮市長

定住自立圏構想

総務省が提唱した新たな広域連携の形で、地域全体の人口定住のために連携しようとする圏域の、都市機能や地域資源を生かす方策です。核となる人口5万人以上など、一定の条件を満たす中心市が周辺市町と協定を結び、行政間だけでなく、民間とも連携しながら圏域全体の暮らしに必要な機能を確保するというもので、西胆振地域では、これまで6市町で検討されてきました。

中心市宣言で連携を想定する取り組み

連携を想定する取り組み		連携事業のイメージ
生活機能の強化	医療	診療情報ネットワーク化を促進 地域救急医療体制の維持・確保
	防災	室蘭市の医療機関と連携した災害医療の充実 三市防災協定の周辺市町への拡充
	教育	室蘭市の産業資源を活用したものづくり学習 周辺市町の歴史・文化資源を活用した総合教育
	産業振興	室蘭市の試験研究機関等と連携した食のブランド化支援 室蘭市の産業資源や交通機能を活用した滞在型観光
	環境	室蘭市の研究機関等と連携し環境関連事業の研究開発 再生可能エネルギーの利用や省エネルギーの取り組み
結びつきやネットワークの強化	地域公共交通	民間バス、JR等の路線網・便数等の充実
	情報基盤整備	図書館情報システム等の周辺市町への拡充 観光情報の提供に関わる情報化
	地産地消	地元農水産物を活用した食育 室蘭市内の店舗等における地元農水産物の利用促進
	交流・移住促進	圏域移住情報の共同発信 季節移住の受け入れに関わるネットワーク体制の構築
圏域マネジメント	人材の育成と活用	合同職員研修等の実施 地域ブランドの開発等での民間人材の活用
	行政事務の共同実施	行政事務を共同で実施

《詳細》企画課 ☎252181